

令和6年度総合戦略評価シート

重点プロジェクト = 総合戦略事業

第2期地方版総合戦略の位置づけ

国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「人口減少の緩和」「地域内経済循環の実現」「人口減少に適応した地域づくり」という地方創生の視点は、大磯町第五次総合計画前期基本計画でめざす方向性と合致することから、前期基本計画は「第2期地方版総合戦略」を兼ねるものとし、課題解決に向けて重点的に推進する取組みを示す**重点プロジェクトを「総合戦略事業」として位置づけ**ます。

〈重点プロジェクト1:働く人を応援するプロジェクト〉

<p>○課題</p> <p>自然や歴史・文化的な魅力を有する良好な住宅地として発展してきた大磯町であるが、近年は人口減少・少子・超高齢社会の到来により、地域産業の担い手不足、生産性の向上といった課題に直面している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、働き方や生活様式の変化により、従来の住宅地としてだけでなく、良好な環境の中で、住みながら働くことができる町としての魅力が着目されつつある。</p>	<p>○基本的な考え方～官民が連携して、働く世代を町に呼び込み、地域経済の活性化を推進する～</p> <p>町の魅力を高め、開かれたまちとして持続していくために、働く人が元気になるまちをめざします。町内外での交流による地域産業の担い手づくりや魅力的な拠点の形成・活用などを通じて、経営基盤の安定化を図るとともに地域経済の循環を育んでいきます。こうした取組みを町民・事業者と連携・協働しながら進めることで、町民の誇り・憧れ・活気を育み、大磯らしい多様なライフスタイルを創出します。</p>	<p>○期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な産業・働き方の提案 ⇒ 多様なライフスタイルの実現 ■ 地域経済の循環促進 ⇒ 地産地消の促進・交流機会の創出 ■ 大磯町の魅力向上 ⇒ 移住促進・関係人口の増加
--	---	--



補足) 現状…原則令和元年度末数値、補助的評価指標…第五次総合計画前期基本計画部門別計画(P28～P89)の施策指標から引用

P(PLAN)		D(DO)								C(CHECK)						
重点事業	実施項目	主な取組み	評価指標	単位	現状	指標の推移					町評価					
						R3	R4	R5	R6	R7	目標	評価	評価理由	今後の方針		
① 地域産業基盤支援事業 ・地域産業の担い手を関係者と連携しながら多角的に支援します。	◆多様な担い手の確保や育成への支援 ◆生産力の維持・向上への支援 ◆経営環境の改善や経営基盤強化への支援	森林所有者と利用希望者のマッチングに向けた意向調査、農業次世代人材投資資金	KPI	町内事業者数	件	1,259	1,249	1,351	1,349	1,349		1,259	A	KPIは横ばいに推移しているが、数値目標に達しており、該当する事業は順調に進められている。	地域産業の担い手の育成に努めるとともに、効果的な支援を行うことで産業の活性化を図る。	
		川場村との協定、めいどいんおおいそ、ふるさと納税返礼品の新規登録	補助的評価指標	《上記のKPIの補助的な指標として参考としてください。》												
		中小企業金融対策融資・資金利子補給、勤労者住宅資金利子補給、勤労者生活資金利子補給、大磯ものづくりわくわく支援補助金、農業経営基盤強化補助金		金融対策支援融資利用件数	件	13	5	7	8	10		18				
				勤労者金融対策支援件数	件	30	34	38	27	21		36				
② 地域経済循環形成事業 ・町内の観光施設等を活用することにより地域経済の流れ・循環を形成します。	◆みなとオアシスエリアの充実 ◆大磯らしい潤いづくり(※1)の促進 ◆スマート産業(※2)への転換の促進	WEEKLY打上げ花火in大磯、Water Battle、大磯海辺の映画館、PORTSIDE DOGRUNなどの実施	KPI	繁閑差率(※3)	%	36	53	57	54	58		50以上	A	KPIは横ばいに推移しているが、数値目標に達しており、コロナ禍で減少していた観光客数が年々回復してきている。	地域資源の魅力を積極的に発信するとともに、魅力的なイベントの実施や町内に点在する観光拠点を維持・整備し、町全体を「面」として展開していくことで通年での誘客をめざし、地域経済の循環を図る。	
		大磯らしい潤いづくり協議会事業等への支援	補助的評価指標	《上記のKPIの補助的な指標として参考としてください。》												
				入込観光客数	万人	97.9	64.9	105.6	119.8	112.1		100以上				
				旧吉田邸年間観覧者数	人	38,755	16,175	23,481	22,051	23,720		49,000				
③ 働く世代の移住促進事業 ・住みながら働きたいと思う人々を大磯に惹きつけ、移住者の増加をめざします。	◆移住支援総合窓口の開設 ◆お試し居住の実施 ◆多様な働き方の支援	移住支援総合窓口による移住相談	KPI	移住支援総合窓口の相談件数	件	0	9	29	20	18		10以上	A	KPIの数値は減少傾向であるが、数値目標に達しており、移住促進に関する取組みは順調に進められている。	町内の移住支援団体とも連携した中で、大磯町の魅力を効果的に発信するとともに多様な相談機会の創出や、大磯町に関心を持ってもらえるようなイベントを実施する。	
		町内移住支援団体との連携	補助的評価指標	《上記のKPIの補助的な指標として参考としてください。》												
		空き家バンク登録、町主催移住セミナーの開催、県主催セミナー・移住イベントへの参加、移住バンクプレットのリニューアル、移住・定住促進プロモーション動画制作に向けた検討		空き家バンクの登録・活用件数	件	5	10	30	13	10		10以上				
				多様な働き方への取組み件数	件	0	0	0	0	0		5				

C(CHECK)		町評価	
総合計画審議会評価	意見等	評価	今後の方向性
I II III IV V	<p>①地域産業基盤支援事業に関して、KPI「町内事業者数」及び補助的評価指標(金融対策支援融資利用件数)の推移を見ても、順調に進んでいるとは言えない。</p> <p>②地域経済循環形成事業に関して、KPI「繁閑差率」だけでは評価できないところもあるが、事業の進捗は見られる。</p> <p>③働く世代の移住促進事業に関して、KPI「移住支援総合窓口の相談件数」の目標値を達成しているが、補助的評価指標(空き家バンクの登録・活用件数、多様な働き方への取組み件数)の進捗を見るとあまり活発ではないことから、町評価A(順調に推移)は妥当ではない。また、指標の進捗が見られないと評価ができないため、成果が出ている点などを提示してほしい。</p>	A	<p>◆重点事業①について、森林所有者と利用希望者のマッチングに向けた意向調査の結果を基に、林業の担い手の確保に努める。また、家畜の暑熱対策に対する補助や、鳥獣被害対策資材の補助など、生産力の維持・向上に取り組む。</p> <p>◆重点事業②について、「ウィークリー打上げ花火」等の大磯町のイベントを継続しながら、新たなイベント(フリーマーケットや風揚げなど)を企画し、通年での誘客につなげる。また、大磯らしい潤いづくり協議会と連携し、消費者のニーズに合わせた商品を開発するとともに、ふるさと納税返礼品の新規登録を促すことで財源確保につなげる。</p> <p>◆重点事業③について、移住支援総合窓口による移住相談、全国的な移住イベント等への参加を継続しながら、本町の魅力発信に努める。また、本町に移住を検討する方に向けて空き家のリフォーム・解体補助を開始し、移住定住促進に取り組む。</p>

(※1)大磯らしい潤いづくり…観光及び産業を通じた情報発信、通年での誘客や町内事業者への多角的な支援などを促進し、効果的かつ総合的に来訪地としての魅力を高めるとともに、地域に賑わいを生み出すことを目的とする取組み。

(※2)スマート産業…人手不足や生産力向上等の課題解決を実現するため、ロボット技術やICTを活用する取組み。

(※3)繁閑差率…観光客数の繁忙期(5月～10月)と閑散期(11月～4月)の差を率で示したもの。

＜重点プロジェクト2:妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえるプロジェクト＞

○課題
 少子・超高齢社会が到来する中、次世代へ引き継いでいく社会を形成するためにも子育ての環境を充実させることが求められている。行政サービスの充実、地域ぐるみでの子育て支援の拡充、大磯町の自然や歴史・文化を生かした魅力的な教育の推進し、次世代へと継承していくことが重要である。

○基本的な考え方～地域が一体となり子どもや子育て世代を支え、次世代へとつないでいく～
 少子・超高齢社会が到来する中、次世代へ引き継いでいく社会を形成するためにも子育て・子育ての環境を充実させることが求められています。行政サービスの充実とともに、地域ぐるみでの子育て・子育て支援の拡充を図ることで、子育てしやすいまちとして大磯町の存在感を高めていきます。また、大磯町が有する自然や歴史・文化を生かした魅力的な教育を推進し、次世代へと継承していきます。

○期待される効果
 ■ 子育て支援の充実による仕事と子育ての両立
 ⇒ 子育て世代の社会参加の促進
 ■ 子育て環境の向上による定住促進・移住希望者の増加
 ⇒ 定住人口の安定化
 ■ 教育の質の向上と地域学習の推進
 ⇒ 地域人材の育成・発掘



補足) 現状…原則令和元年度末数値、補助的評価指標…第五次総合計画前期基本計画部門別計画(P28～P89)の施策指標から引用

P(PLAN)		D(DO)										C(CHECK)		
重点事業	実施項目	主な取組み	評価指標	単位	現状	指標の推移					目標	町評価		
						R3	R4	R5	R6	R7		評価	評価理由	今後の方針
① 子育て総合支援事業 ・妊娠・出産・子育ての各ステージに応じた支援を行います。	◆待機児童対策の推進	大磯幼稚園の認定こども園化	KPI 待機児童数	人	15	8	9	18	12		0	B 前年度と比較し、待機児童は減少しているもののKPIの目標数値には達しておらず、保護者の需要に対して、受入れ環境の整備が追いついていない。	待機児童数0人にするために、幼児教育・保育のニーズに対する支援体制の強化を図る。	
	◆切れ目ない支援体制の構築	一時保育・休日保育、放課後子ども教室、朝の子どもの居場所づくり事業、こども医療費助成事業、小学校給食費無償化補助金、中学校昼食支援、こども家庭センターの設置による支援体制の強化	補助的評価指標 保育の資質向上支援研修実施回数	回	3	3	3	4	3		3以上			
			補助的評価指標 放課後子ども教室の参加者数	人	5,746	1,196	2,516	2,697	2,331		6,000以上			
② 地域とともに見守り育む子育て事業 ・地域全体で子育てを支える環境を構築します。	◆子育て支援センター機能の充実	つどいの広場の開設、子ども発達相談員による相談支援の実施、こども家庭センターとの連携体制の強化	KPI 「つどいの広場※4」利用者数	人	13,807	7,610	10,608	12,001	11,127		15,000以上	C 前年度と比較し、利用者数は減少しており、KPIが目標の数値に達していない。	目標達成に向け、さらなる利用を促すため、広報媒体を活用した周知を図る。	
	◆子育て世代と支援者のマッチングの促進	ファミリー・サポート・センター事業	補助的評価指標 子ども発達相談員による相談数	人	321	544	539	563	517		370以上			
	◆自主的な活動の支援		補助的評価指標 青少年関連行事開催数	回	5	3	6	7	8		8			
			補助的評価指標 ファミリー教室受講者満足度	%	85	63	95	100	96		90			
③ 次代を育む「大磯教育」事業 ・幼保小中連携、地域連携など大磯町の特性を生かした教育を推進します。	◆学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の設置	学校運営協議会の開催及び運営についての調整等	KPI 学校運営協議会における実施事業数	事業	0(未設置)	0(未設置)	6	6	6		10以上	B KPIの数値は横ばいで推移しているが、ICT機器の活用拡大など教育ICT環境の充実に取り組んだことから、一定の成果は見られる。	学校運営協議会を促進するとともに、ICT機器の活用拡大など教育ICT環境の充実を図りながら、大磯町の特性を生かした教育を推進する。	
	◆教育ICT環境の充実	児童生徒一人一台端末の利用促進に向けた研修の実施、心の健康観察アプリの導入	補助的評価指標 青少年指導者研修参加延べ人数	人	6	10	6	10	5		12			
	◆グローバルな大磯カリキュラム※5の実施	教職員研修交流事業、青少年指導員研修等の実施、大磯式部活動の構築	補助的評価指標 「授業が分かる」と回答した生徒の割合	%	60.3 82.4	79.9 72.8	81.9 82.3	83.9 80.7	83.1 88.8		80以上 85以上			
C(CHECK)						A(ACTION)								
総合計画審議会評価						町評価								
評価	意見等					今後の方向性								
I II III IV	①子育て総合支援事業及び②地域とともに見守り育む子育て事業に関して、KPI「『つどいの広場』利用者数」の数値が伸び悩んでいることから周知不足であると考え。なお、周知方法は、広報紙や広報掲示板などによる情報発信を継続しながら、若い世代にも見てもらえるようなスマートフォンに対応したホームページの表示、LINEやInstagramなどの活用にも努める必要がある。 ③次代を育む「大磯教育」事業に関して、PTAの会員数の減少など、学校運営協議会の立上げから状況も変わっていることから、学校運営協議会が主体となって事業を進めることは難しい。KPI「学校運営協議会における実施事業数」の目標値10以上は現実的ではないと考える。					◆重点事業①について、令和9年度の認定こども園の開園に向けて設置運営事業者による整備を進める。また、妊婦健康診査の公費負担額の増額や、1か月児健康診査に対する公費負担などの経済的負担の軽減に加え、出生率や歯科健診の受診率の向上に向けた「おおいそはぐみギフト事業」など新たな取組みを実施し、「切れ目ない支援」の一層の強化を図る。 ◆重点事業②について、こども食堂や学習支援などを実施する団体の継続的な運営を支援するため、「こどもの居場所づくり支援事業」を実施し、地域の居場所づくりに取り組む。また、令和7年度に構築する「こども・子育て支援ポータルサイト」を活用し、子育て支援に関する情報を積極的に発信する。 ◆重点事業③について、町立小中学校の特別教室への空調整備や、町立大磯小学校のトイレ改修の施設整備に加え、町立小中学校体育館の空調設備の整備及び中学校給食の再開に向けた検討を進める。また、児童生徒一人一台端末の更新に加え、電子黒板を導入するなど、教育環境の整備に取り組む。								

(※4)つどいの広場…乳幼児とその保護者が安心して自由に遊ぶことができる場所であり、子育てコンシェルジュ・子育てアドバイザーによる、子育ての不安や悩みに対する相談を行っている。

(※5)グローバルな大磯カリキュラム…グローバルとは地球規模を意味するグローバル(global)と地域を意味するローカル(local)を組み合わせた造語で、国際社会で求められる能力等を育む外国語教室、歴史資源を生かした郷土学習、恵まれた自然環境を生かした環境学習など、本町の特色や地域資源を生かした学習をめざす取組み。

〈重点プロジェクト3:住む人の安心な暮らしを守るプロジェクト〉

<p>○課題</p> <p>住み慣れた地域での自立した暮らしを継続していくためには誰もが安心して暮らし続けられる地域を築くことが求められている。災害などの非常時にも柔軟に対応できるように地域防災力を高め、安全で安心して暮らすことができる地域づくりが必要である。</p>	<p>○基本的な考え方～あらゆる生活の基盤を支え、安全で安心を実感できる暮らしを実現する～</p> <p>自然に囲まれた環境の中で、安心を実感できる暮らしを実現することが、大磯町の豊かさの原点です。平時においては、暮らしを支える健康づくりを推進し、安心や交流の基礎となる移動環境の改善により、仕事や余暇などそれぞれの暮らしの場面を支えます。災害などの非常時にも柔軟に対応できるように地域防災力を高め、平時から非常時まで安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを進めます。</p>	<p>○期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 災害に強い地域の形成 ⇒ 回復力の強いまちづくり ■ 健康寿命の延伸 ⇒ 高齢者の社会参加の促進 ■ 地域での出会い・つながりの形成 ⇒ 地域での支え合いの強化
--	--	--

補足) 現状…原則令和元年度末数値、補助的評価指標…第五次総合計画前期基本計画部門別計画(P28～P89)の施策指標から引用

P(PLAN)		D(DO)										C(CHECK)			
重点事業	実施項目	主な取組み	評価指標	単位	現状	指標の推移					目標	町評価			
						R3	R4	R5	R6	R7		評価	評価理由	今後の方針	
① 地域防災力向上事業 ・あらゆる災害に対し、自助、共助、公助により確に対応できる体制づくりを進めます。	◆防災・行政(※6)ナビの普及・機能拡充	備蓄品の購入、防災セットの販売、防災・行政ナビの活用促進	KPI 防災・行政ナビ登録者数	件	0 (導入前)	4,953	6,176	7,247	9,813		5,000以上	A	KPIの数値は、目標に達しており、さらに増加している。	災害に対応できる地域づくりを進めるため、多くの人へ周知を行い、防災訓練の参加率向上を図る。	
	◆総合防災訓練等の継続実施	総合防災訓練、ベト避難訓練、自主防災組織が実施する訓練などの実施	《上記のKPIの補助的な指標として参考としてください。》												
	◆業務継続性の強化	災害対策本部訓練における災害協定締結先との災害対策業務の確認	災害協定数	件	51	72	79	82	88		60以上				
	◆感染症対策の充実	衛生物品の整備や避難所レイアウトの検討	防災リーダー資格者数	人	30	33	36	39	42		48以上				
			防災訓練(安否確認訓練)参加率	%	80.2	79.1	83.1	65.6	70.6		90以上				
② 健康長寿推進事業 ・未病対策なども含めて健康寿命の延伸を促進します。	◆地域での健康づくりの促進	次期けんこうプラン大磯の策定、ますます元気いっばい教室、ポール・ウォーキング教室、介護予防講師派遣	KPI 平均自立期間(※9)	歳	男性 81.51 女性 84.73	男性 81.51 女性 84.73	男性 81.0 女性 84.5	男性 81.1 女性 84.8	男性 81.0 女性 84.8		延伸	B	KPIの数値は横ばいに推移しているが、補助的評価指標は増加している。	地域での健康づくりを促進するため、広報等で周知を行い、通いの場の開始地区数の増加やスポーツ施設の利用件数の向上につなげる。	
	◆地域とのつながりの構築	つながり事業(通いの場の普及に向けた支援)	《上記のKPIの補助的な指標として参考としてください。》												
			おあしす24(※10)から地域主体の通いの場へ転換数	件	0	0	0	0	0		3				
			通いの場開始地区数	地区	—	—	—	—	9		24				
			スポーツ施設利用件数	件	3,191	2,587	3,094	3,046	3,265		3,300				
③ 地域モビリティ(※7)推進事業 ・誰もが安心して行き交う事ができる環境を整えます。	◆公共交通の維持、新たな公共交通の導入	補助路線バスの継続、大磯町地域公共交通計画に基づく新たな公共交通の検討	KPI 新たな公共交通サービスの導入数	件	1	1	1	1	1		2	B	KPIの数値に変動はないが、目標値に到達するため、検討が進められている。	策定した「大磯町地域交通計画」に基づいて、新たな公共交通サービスの導入を図る。	
	◆移動困難者、移動制約者への支援	予約型乗合タクシーの運行、新たな公共交通の検討	《上記のKPIの補助的な指標として参考としてください。》												
	◆交通結節点(※8)の安全性向上	大磯駅前広場に係る設計業務及び整備工事の実施、交番移転に係る新交番用地の不動産鑑定評価業務	定期点検(2巡回)実施済み橋りょう数(全69橋)	橋	0	57	69	70	70		69				
			橋りょう長寿命化実施済み橋りょう数(全69橋)	橋	4	10	20	30	31		31				
			主要幹線道路構想	路線	0	0	0	0	0		1				

C(CHECK)		A(ACTION)		
総合計画審議会評価		町評価		
評価	意見等	今後の方向性		
I II III IV V	<p>①地域防災力向上事業に関して、地域によってバラつきはあるが順調に進捗していると考える。</p> <p>②健康長寿推進事業に関して、KPI「平均自立期間」の数値にほぼ変化がなく、評価をすることが難しい。また、補助的評価指標「通いの場開始地区数」について、知り合いなどがいない高齢者もいることから、多くの方に参加してもらえるように働きかけをしてほしい。</p> <p>③地域モビリティ推進事業に関して、緊急度が高い事業もある中で、KPI「新たな公共交通サービスの導入数」の数値に変化が見られないことから、事業の進捗が遅れていると考え。高齢化も進む中で、自動車運転免許証の返納を考える方が増えてきていることから、補助金などの対応が必要である。</p>	<p>◆重点事業①について、子どもや保護者など若い世代の方々を対象とした防災訓練などを新たに実施し、防災教育の機会の創出に取り組む。また、新たな備蓄品等の拡充や、防災拠点の分散化を図るため、防災備蓄倉庫を整備する。</p> <p>◆重点事業②について、引き続き、「通いの場」など、健康づくりや介護予防の推進に向けて取り組んでいる団体を支援する。また、地域をつなぐを深めるために、「地域福祉活動団体等支援事業交付金」を創設し、町民一人ひとりが積極的に参加できるよう取り組む。</p> <p>◆重点事業③について、交通空白地対策として富士見地区にタクシー補助の拡充や、児童生徒の通学手段として車両の借上げを行う。また、75歳以上の免許返納者を対象に路線バスのフリーバス購入費への補助を行い、免許返納を促進することで、交通安全対策に取り組む。</p>		

(※6)防災・行政ナビ…町からのお知らせや防災・災害に関する情報、生活に役立つ情報が通知されるスマートフォン専用の無料情報ポータルアプリ。

(※7)地域モビリティ…バスやタクシーといった公共交通など、地域における様々な移動手段。

(※8)交通結節点…鉄道駅、バスターミナル、駅前広場など交通手段が相互に接続し、交通動線が集中的に結節する箇所。

(※9)平均自立期間…大磯町での要介護認定2以上になるまでの期間の平均を指し、第五次総合計画前期基本計画重点プロジェクト3の(②健康長寿推進事業)のKPIに位置づけられている「健康寿命」を指す。

(※10)おあしす24…町保健師や管理栄養士が町内24地区を定期的にまわり健康チェックや相談などを行う事業。